

岸和田市立幼稚園及び保育所再編個別計画【前期計画】の概要

市と市教育委員会では、本市が抱えている待機児童等の存在、幼稚園の定員割れや小規模化、市立施設の老朽化といった課題を解消し、未来を担っていく子どもたちに、良質な教育・保育環境を提供することを目的に「岸和田市立幼稚園及び保育所再編方針(以下「再編方針」という。)」を策定し、「今後の就学前児童に対する教育・保育の考え方」に基づき、市立幼稚園及び保育所の再編を進めていくこととしました。

岸和田市立幼稚園及び保育所再編個別計画(以下「個別計画」という。)は、その具体的な内容(再編対象となる施設、再編方法、実施時期等)を示すものです。

- 個別計画では、計画期間を以下の3期に区分します。
 - ・前期(令和2～6年度) ・中期(令和7～9年度) ・後期(令和10～12年度)
- 子ども・保護者、民間園等を与える影響を考慮し、原則として再編の実施予定の前々年度までに公表します。

●前期計画期間における実施内容 <右表に示す点線部分が、前期計画期間の対象になります>

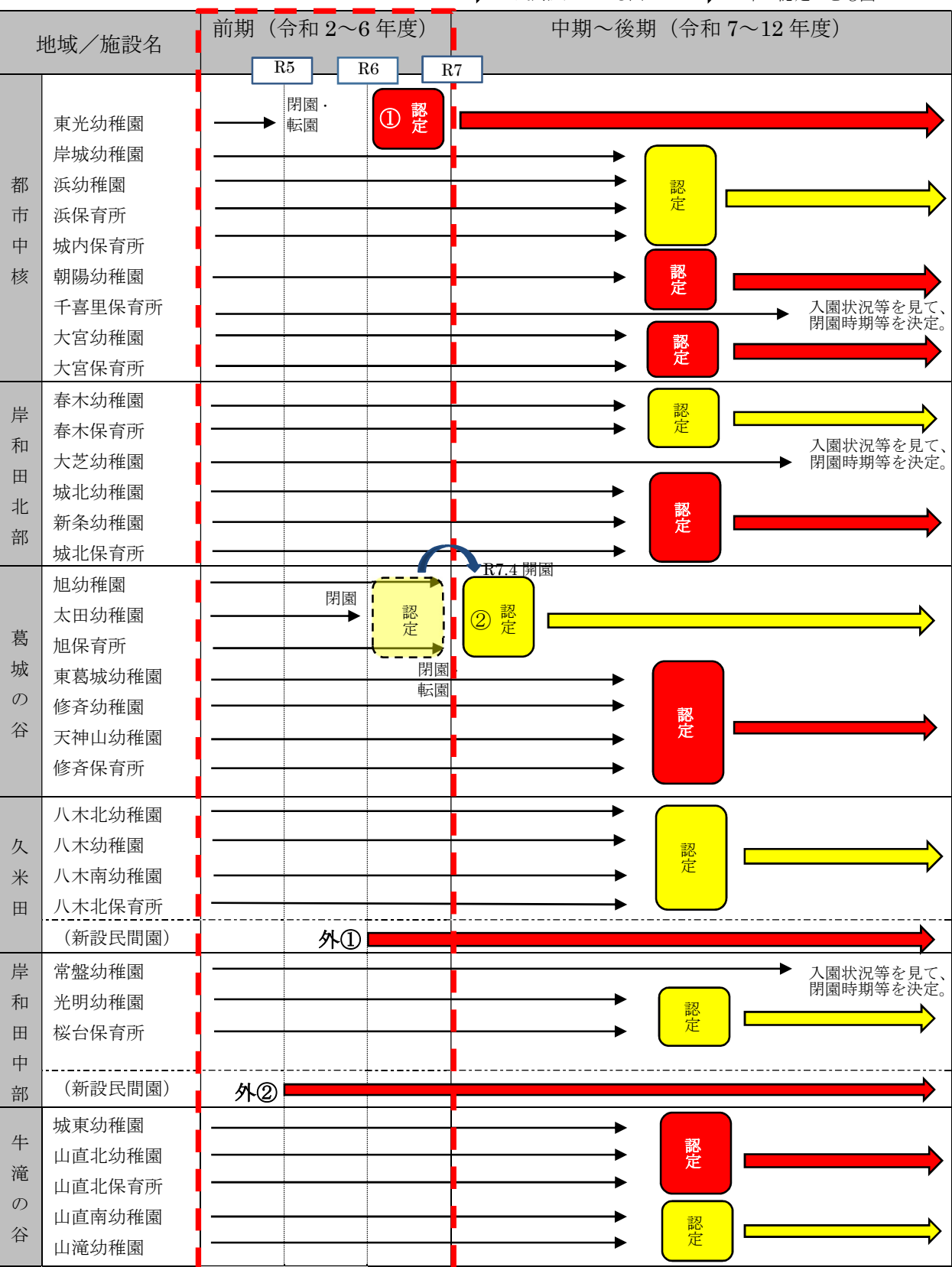
	①東光幼稚園地	②太田幼稚園地	外①府営岸和田大町住宅跡地	外②徳松池・コロベ池埋立地
所在地	作才町1丁目	畑町3丁目	池尻町	作才町・土生町
地図 (参考)				
地域	都市中核	葛城の谷	久米田	岸和田中部
運営の主体	民間事業者	市	民間事業者	民間事業者
現所有形態	市有地	市有地	府有地	市有地
敷地面積 (概算)	1,075 m ²	2,466 m ²	約 2,100 m ²	約 2,200 m ²
想定定員	70～100 名	150～200 名	150～180 名	150～180 名
再編対象となる施設	東光幼稚園	旭幼稚園、太田幼稚園、旭保育所	—	—
開設年度	令和6年4月	令和7年4月	令和6年4月	令和5年4月
在園児への対応	令和4年度末に東光幼稚園児は他の市立幼稚園で受入れ。	令和5年度末に太田幼稚園児は他の市立幼稚園で受入れ。施設完成後、旭幼稚園、旭保育所の在園児は、新たな認定こども園に転園。	—	—
特記事項	主体となる民間事業者に土地を売却。	太田幼稚園の園地での改修工事等を令和6年度中に実施。	主体となる民間事業者に大阪府が土地を売却。令和3～4年度にかけて周辺道路の整備工事を予定。	主体となる民間事業者に土地を売却。都市計画道路岸和田港福田線に接する。

※ 外①、外②は、待機児童の早期解消の観点から、再編とは別に取り組んでいきます。

【必要な対応と今後の進め方】

- (1) 説明会の開催:個別計画を進めるにあたっては、地域住民、保護者の方に説明会を開催します。
- (2) 市立幼稚園の園区制の廃止:令和4年度の新入園児から、全ての市立幼稚園において園区制を廃止します。
- (3) 効果の検証:今後の社会情勢、保護者ニーズを踏まえつつ、再編の効果検証を行います。
- (4) 今後の進め方(中期計画以降の取組み):「岸和田市立小・中学校適正規模及び適正配置実施計画(案)」と整合を取りつつ進めることから、<牛滝の谷>山直南幼稚園、山滝幼稚園は、「(仮称)市立山滝認定こども園」として、現在の山滝中学校地での開園を目指します(詳細は中期計画以降の中で示します)。

●再編の全体像 (3次生活圈)



※ 中・後期計画については、今後の児童数、待機児童数、入園希望の動向、民間園の整備状況を踏まえて検討していくため、変更する場合があります。